

第5回 くれよん組の報告

【日 時】平成23年3月13日（日）午後2時から4時

【場 所】社会福祉会館 1階 会議室1・2

【内 容】（1）グループごとに話し合う
（2）その他

【出席者】メンバー 21人
ほか アドバイザー、事務局

今年最後の会議となるため、前半は「遊ぶ・つきあう」、「知る・利用する・参加する」についてそれぞれ前回の話し合いの続きとまとめを行い、後半は今年の会議の振り返りを行いました。

1. グループごとに話し合う

【遊ぶ・つきあう】

「遊ぶ・つきあう」のグループでは、仲間との交流が苦手な人に、もっと外へ出て、楽しい生活を送ってもらうため、外国の料理をみんなで作って文化交流することを本年度のテーマに据え、企画の骨子をまとめていきました。

メンバー：10人

話し合いで以下のことが決まりました。

《タイトル》	料理交流会「障がい者と作るアジアングルメ」
《日程》	6月19日（日）午前10時から午後2時
《場所》	八尾市立障がい者総合福祉センター 2F 料理講座室
《募集人数》	介助者を含む15名程度（応募多数の場合は抽選）
《参加費用》	ひとり1000円（介助者も同額必要）
《広報》	市政だより6月号、市ホームページ
《締め切り》	6月10日（金）まで
《申し込み方法》	往復はがき（必要事項と参加人数を記入）を使用。
《申し込み先》	自立生活センター やお Tel 072-998-7979 fax 072-998-9979

- ・ 4月1日（金）に国際交流センターに所属する国際料理サークルと打ち合わせをする。交流会当日の料理の種類は未定。

【知る・利用する・参加する】

「知る・利用する・参加する」のグループでは、市政情報の提供方法について話しあいました。市政だよりのダイジェスト版について、障がい者にとって「必要な内容」とは何かということ、またくれよん組でできることの議論を行いました。

メンバー：11人・アドバイザー

①出された意見

- ・ グループとして、具体的にこのような内容が欲しい、ということを示すためダイジェスト版を作ることとなった。目的はダイジェスト版作りではなく、どんな内容が必要なのか意見提案することではないか。
- ・ ダイジェスト版を作成することについて継続して議論してきたが、実際に作成するとなると大きな作業となる。グループメンバーのみ、年5回のくれよん組の活動だけでは手が回らないため、くれよん組とは別にメンバー募集をかけないとならない。
- ・ 議題の内容は、かなり大きいもの。このままやってもゴールがみえない。やるのであれば、行政・メンバー共に腹を決めて取り掛からないといけない。

②まとめ

- ・ 2年間継続議論してきたが、議論の内容を来年度のワーキング会議に提案した上で継続するかを決めたい。また、「遊ぶ・つきあう」グループのメンバーにも意見を聞きたい。

2. その他

（1）今年度の感想など

今年の会議の内容や活動、今後の会議についてメンバーがそれぞれ感想を述べました。

（2）来年度のくれよん組の活動について

平成23年度のメンバーは市政だより5月号にて募集することに決まりました。応募には前年度と同じく、「障がい者同士、障がい者と健常者間で交流を深めるために必要なこと」または「障がい者が様々な情報を得るために必要なこと」についての作文の提出が必要なことと、継続を希望する現在のメンバーにも同様の作文を提出してもらうことになりました。

また、アドバイザーより「八尾市障害者基本計画」に基づいて活動を広げて

きた「障害者基本計画ワーキング会議（くれよん組）」について、開始当初より常に見直しをしながら活動してきましたが、平成24年度からの「第3期八尾市障がい者福祉計画」の策定にともない、くれよん組の活動もフォーラムに絞るなど見直してはどうかとアドバイスがありました。